

愛知のキャリア教育・職業教育について

1	キャリア教育の全体像	P 1
2	愛知県におけるキャリア教育の取組状況	P 2
3	キャリア教育ノート	P 3
4	職業学科（職業教育）の現状について	P 4
5	職業学科の進路状況について	P 5
6	職業学科の魅力ある取組について	P 6

キャリア教育の全体像

キャリア教育とは

「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」

文部科学省「小学校キャリア教育の手引き」H22.1月 より

キャリア教育で育成すべき4つの力

人間関係形成・社会形成能力

- ・他者の個性を理解する力
- ・他者に働きかける力

自己理解・自己管理能力

- ・自分の役割を理解し、前向きに考える力
- ・自己の動機付け

課題対応能力

- ・情報の理解・選択・処理
- ・本質の理解、原因の追求
- ・計画立案、実行力

キャリアプランニング能力

- ・学ぶこと、働くことの意義や役割の理解
- ・将来の設計

中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育のあり方について（答申）」H23.1.31 より

発達段階を踏まえたキャリア教育の推進

小学校

目標
身の回りの仕事や環境への関心・意欲を高め、夢や希望がもてるようにする。

小学部の目標
見学や体験的な活動を通して身の回りの仕事に関心をもつ。

中学校

目標
自分の個性や興味・関心に基づいて、よりよい進路選択ができ、自分の目標に向かって継続的に努力できるようにする。

中学部の目標
さまざまな体験活動等を通して、働くことの楽しさや厳しさに気付く。

高等学校

目標
一人一人の社会的、職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育成する。

高等部の目標
就業体験等を通して、主体的に適切な進路選択ができるようにする。

大学等 高等教育機関

主体的な進路選択

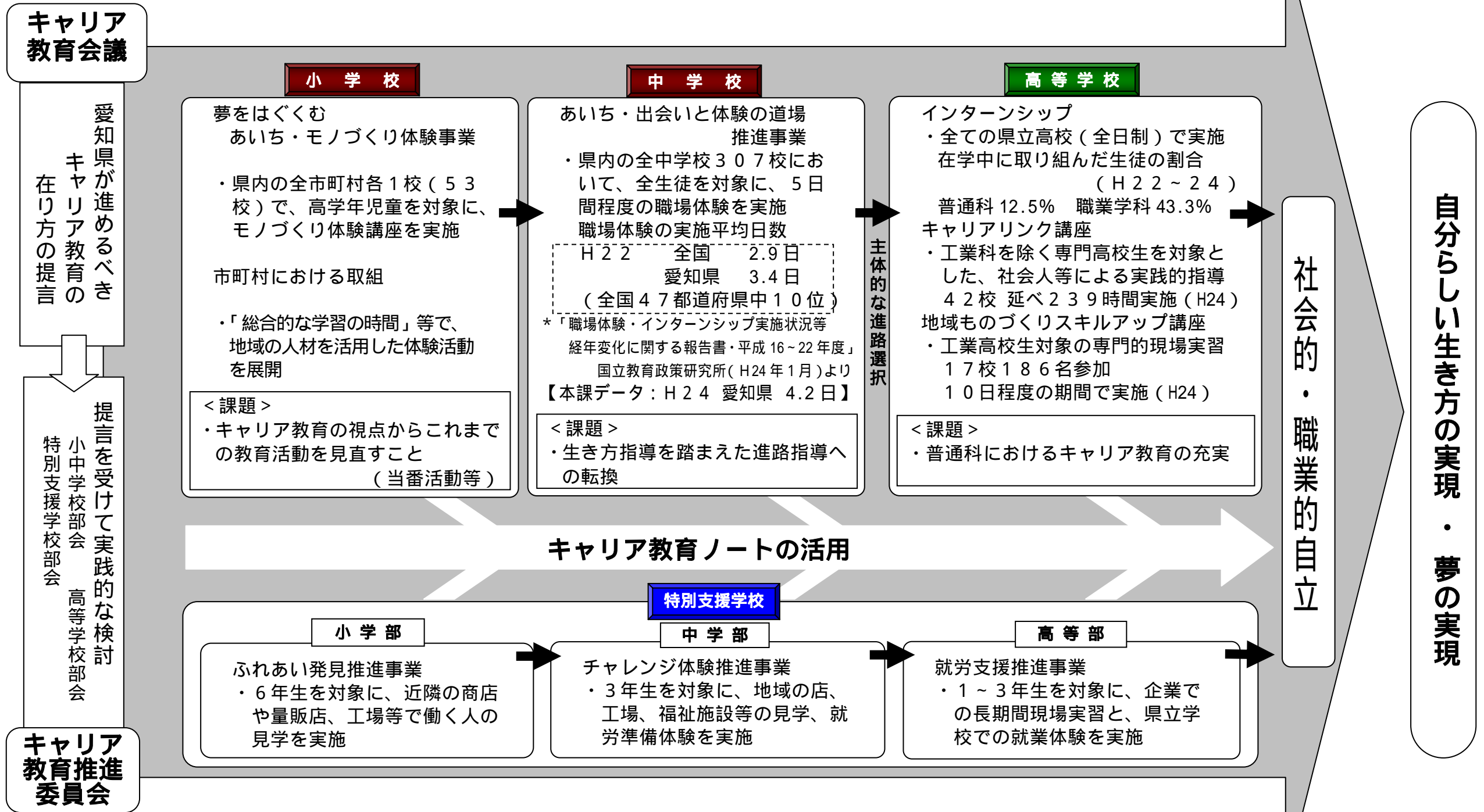
特別支援学校

社会的・職業的自立

希望する進路の実現

自分らしい生き方の実現・夢の実現

愛知県におけるキャリア教育の取組状況



キャリア教育ノート 「夢を見つけ 夢をかなえる航海ノート」(平成23年度作成)

キャリア教育の目的やその進め方をはじめ、小・中・高等学校の各段階における具体的な授業場面や行事等の体験活動で学んだことを書き留めることができるノート。

小・中・高等学校の12年間にわたり累積保存し、節目ごとに自分の成長を振り返り、自己の将来や就きたい職業を考えることで、社会的・職業的自立の基盤となる能力や態度を育成。

小学校 5年 「モノづくり体験活動」の例

月 日 | 5年 組 番 | 名前

夢を見つける航海ノート No.21-01

調べて、聞いて、体験し、新しい発見をしよう。

伝統の筆づくりを体験しよう

職人さんにはなしを聞いたり、きみたち自身でつくることで、技のすばらしさ、その技を長い間伝えることの難しさが実感できるぞ。

事前学習

習字で使う筆の材料は何ですか。思いっただけ書きましょう。

筆職人さんに質問したいことを書きましょう。

ここにこだわっている！
というところを聞きたいな。

夢を見つける航海ノート No.21-02

筆作り

筆職人さんの説明や製造の様子で気づいたこと・分かったこと・心に残ったことを書きましょう。

実際に筆を作ってみて、感じたことを書きましょう。

筆職人さんへの質問をして、気づいたこと・分かったこと・心に残ったことを書きましょう。

筆職人さんの話や筆づくりを体験した感想を書きましょう。

いちばん
難しかったところはどこかな。
できあがった瞬間、
なにを思ったかな。

職人さんは、
どんなところに
やりがいを感じていたかな。

先生から

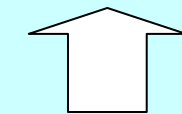
保護者の方から

ノートの活用イメージ



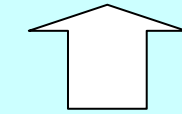
高等学校段階

持ち上がり～累積



中学校段階

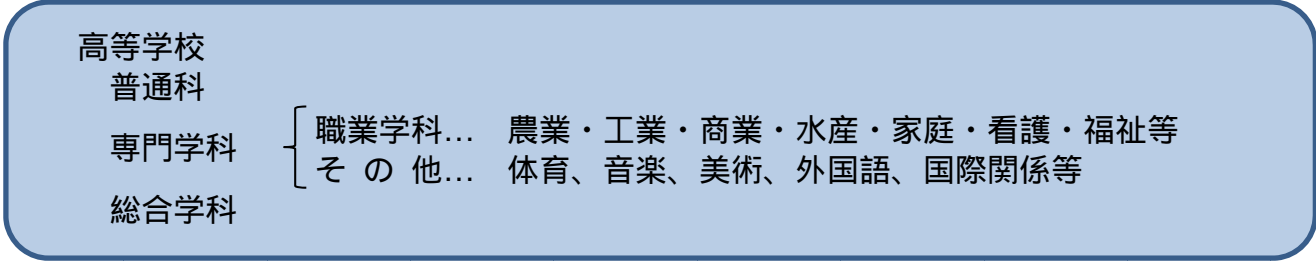
持ち上がり～累積



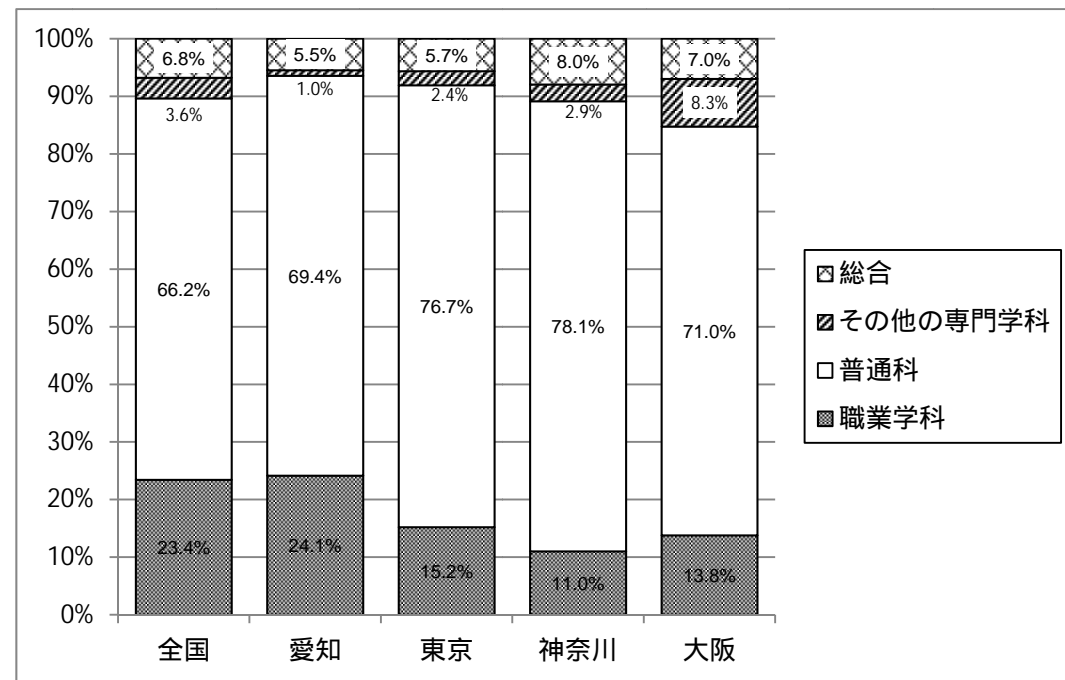
小学校段階

職業学科（職業教育）の現状について

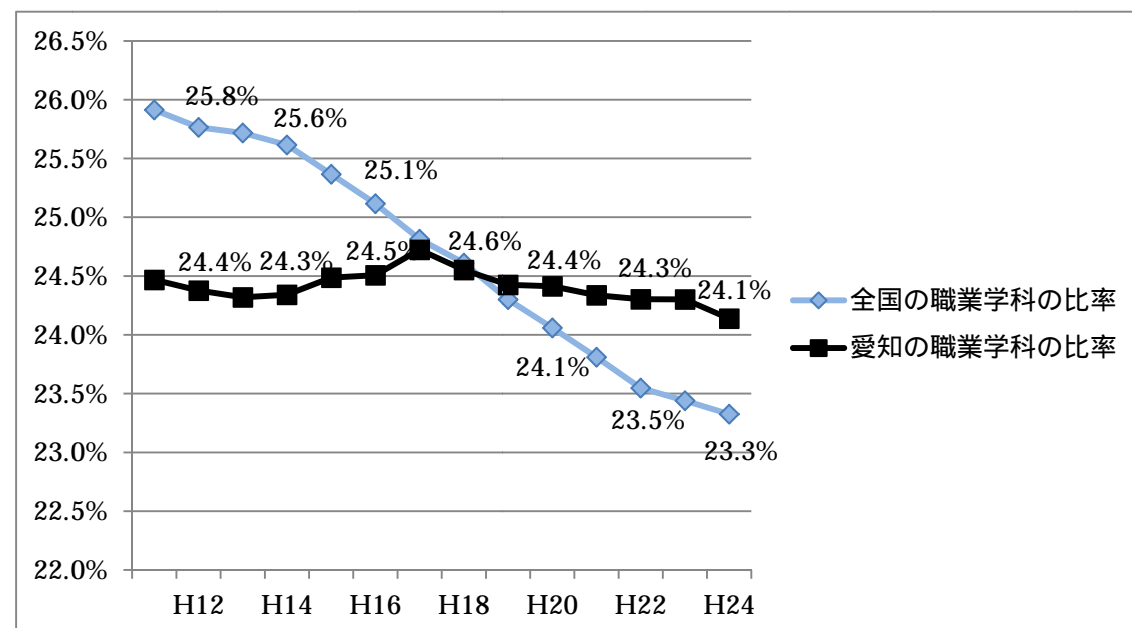
公立全日制高等学校職業学科の生徒数の割合を都道府県別に見ると、本県は、東京、神奈川、大阪などの都市部の中では職業学科の割合が高い。全国の公立全日制課程生徒数に対する職業学科の生徒数の比率は年々減少。本県は、およそ24%を維持。本県の公立全日制高等学校職業学科別生徒数の比率は、全国の傾向と大きな差はないが、家庭科は他県に比べ割合が高い（全国：4.8% 本県：9.1%）。本県の公立全日制高等学校の普通科以外の生徒数の推移を見ると、平成15年度から平成24年度の10年間に於いて職業学科の要素をもつ総合学科が増加。



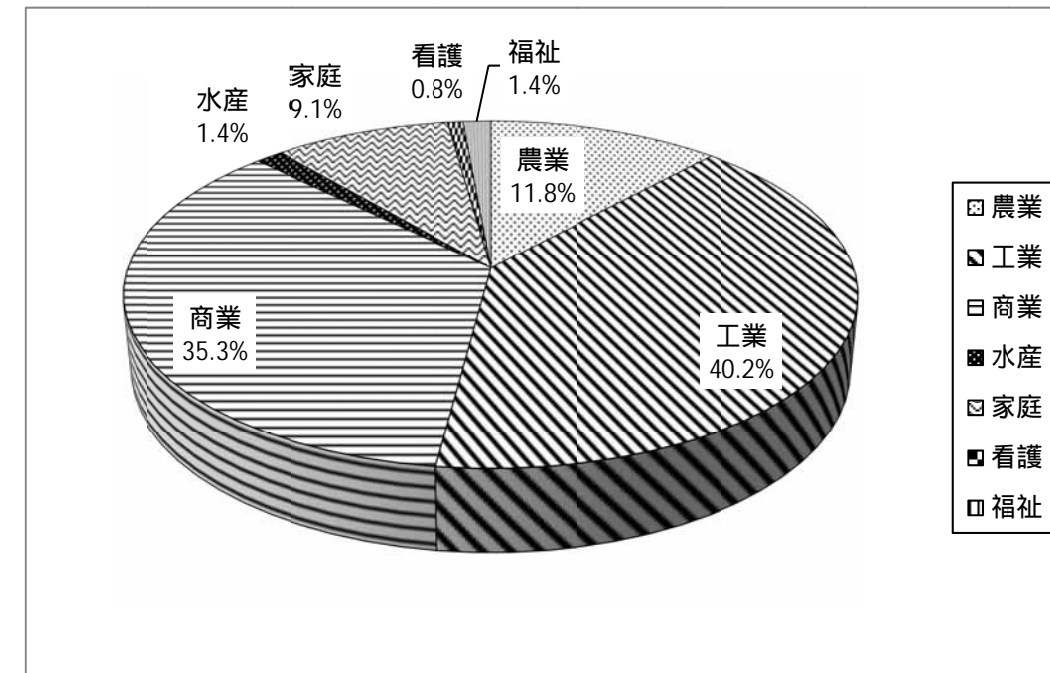
1 公立全日制高等学校生徒数の主な都府県との比較(H24)



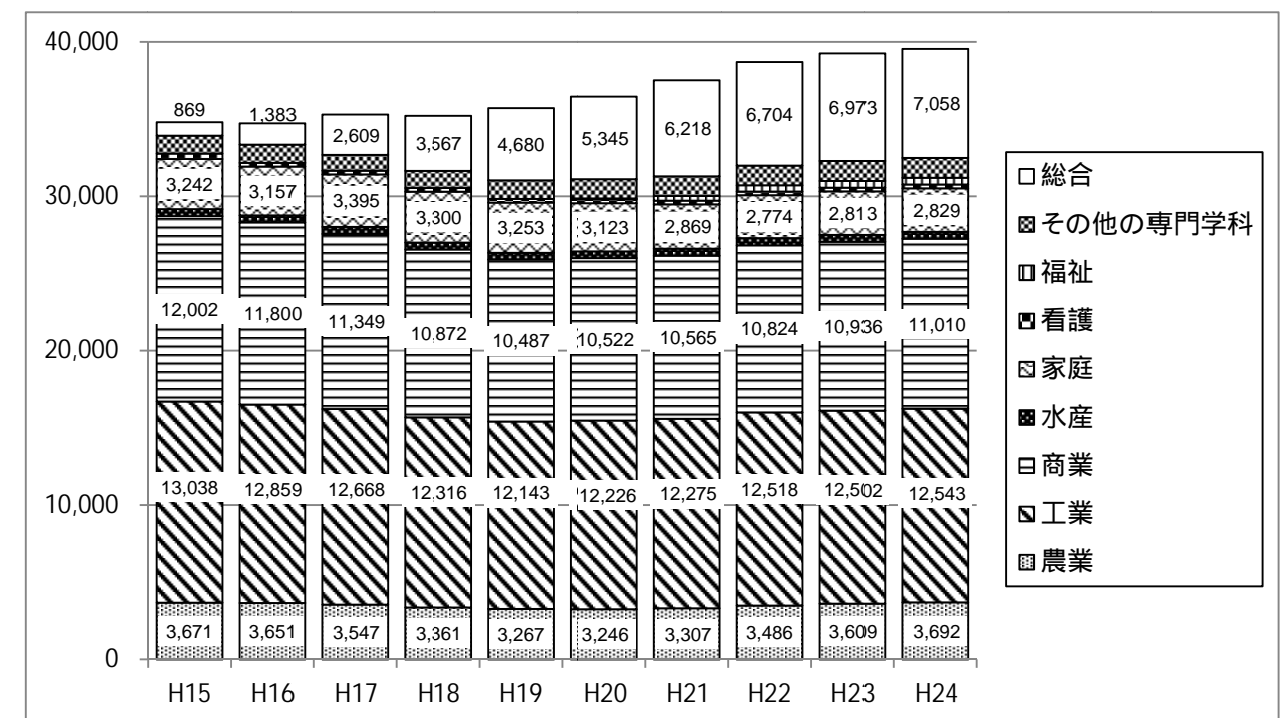
2 公立全日制課程高校在籍者数に対する職業学科生徒数の本県及び全国の比率



3 本県の公立全日制課程の職業学科別生徒数の割合(H24)



4 本県の公立全日制課程高等学校の学科別生徒数の推移(普通科以外)



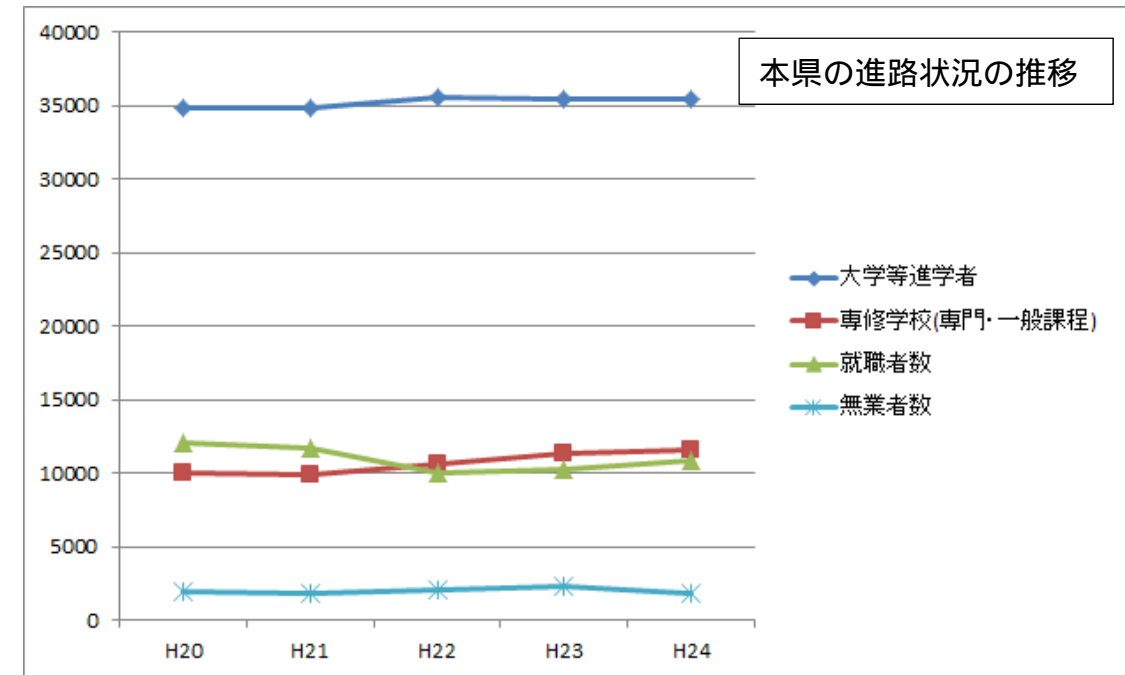
職業学科の進路状況について

平成 24 年 3 月卒業の本県職業学科の生徒は、6 割弱が就職、4 割弱が進学（大学等、専修学校、公共職業能力開発施設等含む）。就職者の割合は、工業科が最も高く、進学者の割合は、家庭科で最も高くなっている（5 年一貫教育を含む看護科を除く）。職業学科における産業別の就職者の割合では、製造業が最も高く、工業科以外でも多くの学科で製造業に就職している。

1 本県新規高等学校卒業生学科別進路状況（H24 国・公・私立、全・定の計）

	卒業生数	大学等進学者 (通教育、放大学を含む)	専修学校 (専門課程) 進学者	専修学校 (一般課程) 各種学校	公共職業 能力開発 施設等	就職者数 (左記進学者のうち就職 している者を含む)	一時的 な仕事 に就い た者	無業者数 (左記以外で死 亡・不詳を除く)		
									普通	農業
平成 24 年 3 月	44,411	31,415 (70.7%)	4,738	3,599	63	2,762 (6.2%)	466	1,362		
普通	1,089	143 (13.1%)	230	57	3	614 (56.4%)	29	13		
農業	5,520	737 (13.4%)	677	18	7	3,949 (71.5%)	35	85		
工業	4,771	1,003 (21.0%)	1,015	85	2	2,342 (49.1%)	134	185		
商業	144	29 (20.1%)	19	0	2	86 (59.7%)	7	1		
水産	1,367	417 (30.5%)	445	20	0	416 (30.4%)	19	50		
家庭	123	76 (61.8%)	17	0	0	30 (24.4%)	0	0		
看護	140	22 (15.7%)	24	0	0	86 (61.4%)	5	3		
福祉	674	485 (72.0%)	32	43	0	53 (7.9%)	3	58		
その他	2,345	1,144 (48.8%)	567	17	0	531 (22.6%)	34	54		
総合	60,584	35,471 (58.5%)	7,764	3,839	77	10,869 (17.9%)	732	1,811		

大学等進学者：大学、短期大学本科、通信教育部・放送大学、その他（高校の専攻科等）
専修学校（一般課程）及び各種学校：予備校通学者を含む。



2 本県新規高等学校卒業生学科別の産業別就職者数（H24 国・公・私立、全・定の計）

区分	計	農業、林業	漁業	鉱業、砕石業、砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	複合サービス事業	サービス業(他に分類されないもの)	公務(他に分類されるものを除く)	左記以外のもの
合計	10,869	43	15	8	598	6,085	218	70	433	939	87	24	113	296	407	29	820	115	269	256	44
普通	2,762	9	3	6	89	1,418	18	18	119	192	8	4	16	102	177	13	309	23	57	166	15
農業	614	24	-	-	19	365	1	-	16	33	2	-	3	22	53	-	39	17	15	4	1
工業	3,949	2	1	1	415	2,744	136	14	131	151	7	9	45	31	25	2	34	19	115	43	24
商業	2,342	1	-	1	49	1,025	53	36	117	435	59	10	39	87	99	11	196	45	56	20	3
水産	86	-	11	-	1	52	-	-	3	9	-	-	-	1	4	-	1	1	2	1	-
家庭	416	1	-	-	3	174	-	2	11	54	7	1	2	34	31	2	75	5	13	-	1
看護	30	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	-
福祉	86	-	-	-	1	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	78	1	1	-	-
その他	53	-	-	-	6	27	-	-	8	2	-	-	-	1	3	-	1	-	1	4	-
総合	531	6	-	-	15	277	10	-	28	60	4	-	8	18	15	1	58	4	9	18	-

数字は、各学科における産業別就職者数の1位から3位を示す。網掛けは、各学科の産業別就職者数1位を示す。

職業学科の魅力ある取組について

1 職業学科における学科改編や新設校について

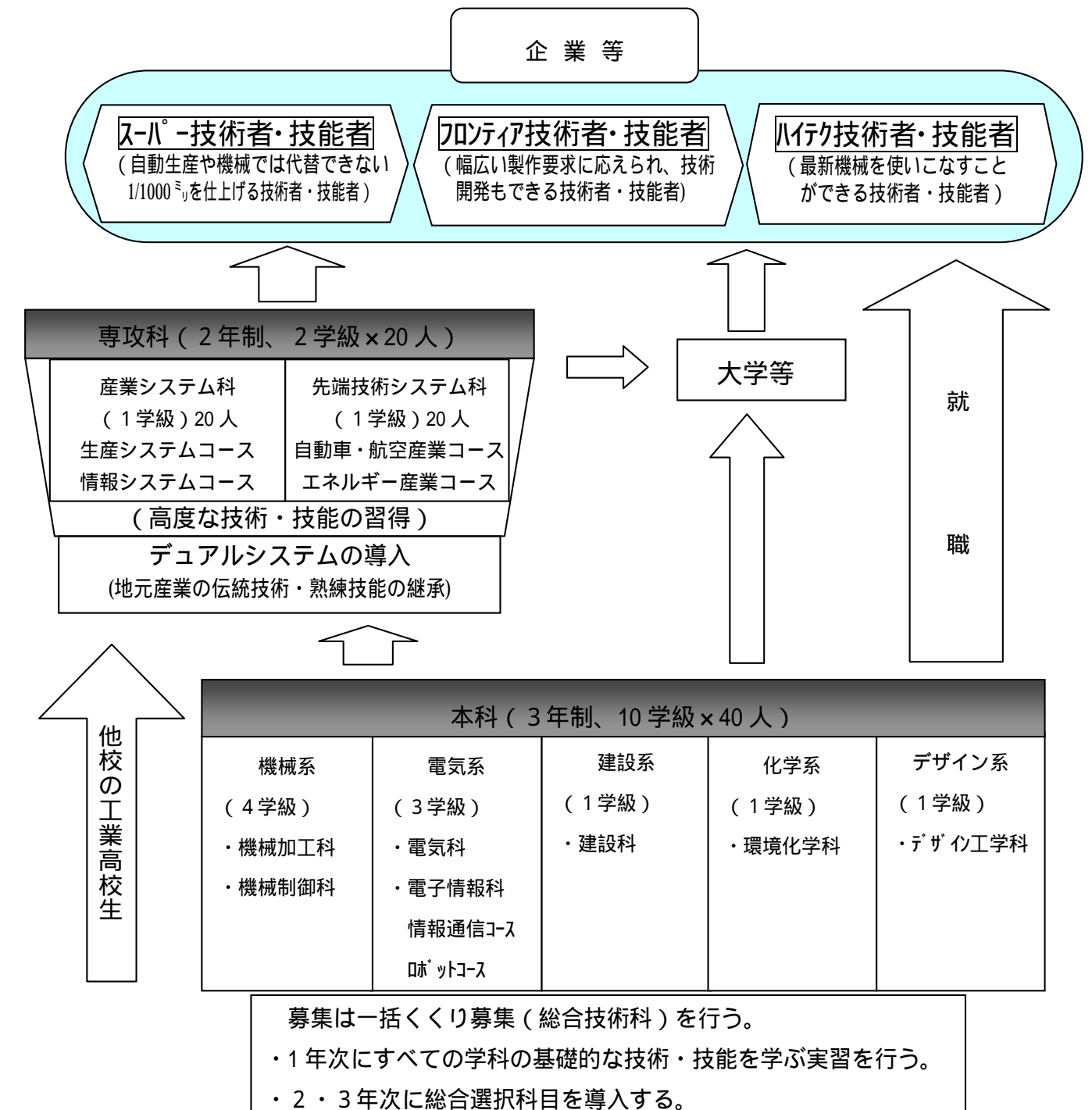
本県の職業学科では、国際化・情報化の進展等による社会の変化や生徒の興味・関心、進路希望の多様化等に対応した学科改編等を積極的に行っている。

(1) 近年の学科改編状況等

学 科	年度	高校名	内 容
農業に関する学科	H21	新城高校	園芸科 園芸科学科 園芸作物栽培の基礎的な知識・技術、バイオテクノロジーの技術、生産物の流通を習得し、地域社会に貢献できる人材を育成。 生活科学科 生物生産科 生物を育てる基礎的な知識・技術、伝統的農産物の加工、ヒューマンサービスを習得し、地域社会に貢献できる人材を育成。 農業工学科 環境デザイン科 環境の保全にかかる知識・技術、自然と共生する社会の実現を目指す人材を育成。
		作手高校	生活・経営科 人と自然科 自然科学、人文科学、外国語等の幅広い知識・教養を身に付け、将来の地域の教育、文化、暮らしの充実に貢献する人材を育成（まなびの森コース）。 農業を中心とした専門科目の体験的・実践的な学びを通して、将来の地域の産業を担う人材を育成（大地のめぐみコース）。
工業に関する学科	H24	起工業高校	メカトロ科 電子機械科 制御に関する基礎的・基本的な知識・技術を習得させ、高品質化が進んでいる産業界において活躍できる人材を育成。
商業に関する学科	H21	新城高校	商業科 情報会計科 ビジネスの基礎知識、実務技能を習得し、情報処理能力と経営能力を身に付けた人材を育成。
	H25	古知野高校	観光ビジネスコース ホスピタリティ（おもてなし）の精神を育み、観光産業全般で活躍できる人材を育成。
家庭に関する学科	H21	桃陵高校	生活福祉科 ヒューマンケア科 「ヒューマンケア」をキーワードとして、生活産業・医療・福祉・教育などの分野で活躍できる人材を育成。
		宝陵高校	商業家庭科、生活福祉科 福祉科 老人福祉医療や障害者施設等で福祉職、医療職として活躍できる人材を育成。
	新城高校	(生活科学科) 生活創造科 地域における食育や生活文化の伝承に貢献できる人材を育成。	
	H22	一宮高校	被服科 ファッション創造科 ファッション造形や保育に関する専門的知識や技術を習得し、豊かなライフスタイルを創造する能力と態度を身に付けた人材を育成。
福祉に関する学科	H25	宝陵高校	社会福祉実践コース・医療看護進学コース 社会福祉分野の学習を基盤に、将来の東三河地区の福祉・医療を支える人材を育成。

(2) 愛知総合工科高等学校（平成 27 年 4 月開校予定） （Aichi High School of Technology and Engineering）

- ・質・量ともに日本一のものづくり技能者を有する本県の産業を、さらに発展させていくため、本県の工業教育の中核となる高等学校を設置。
- ・県内初の機械・電気系の学科をもつ2年制課程の専攻科を併設し、工業に関する知識や技術・技能を深化、高度化、熟練化することにより、本県の産業基盤を支える高度な技術・技能を習得する。
- ・専攻科では、より難度の高い資格（複数の技能士等）の取得を目指すとともに、デュアルシステム（3か月程度の企業実習）を行って、即戦力となる人材を育成する。



2 職業学科における実践的な活動

地域や学校の実態、生徒の特性、進路等を考慮し、体験的な学習や地域企業との連携を図った実践的な教育活動を積極的に実施。

[ねらい]

- ・時代の変化に適切に対応する実践力の深化。
- ・課題を探究して解決する力、自ら考え行動して適応していく力、コミュニケーション能力等の育成。

(1) 農業科

農業高校生フラワーフェスタ

- ・県内の全ての農業高校がジェイアールセントラルビル(株)と連携。
- ・名古屋駅のセントラルビル2Fのテラスにおいて、生徒が育てた植物を造園装飾士とともに飾り付け、憩いの場を提供。
- ・農業高校の学習成果を広く紹介する。また、地域の方々とコミュニケーションを図る。



【高校生が栽培した花の装飾】

農産物の即売

- ・農業高校では毎週決まった曜日や各種イベント等において、実習で生産した新鮮な野菜や作物、鶏卵等を地域の方々に販売。
- ・学校と地域をつなぎ、販売という活動を通して得た知識や人との接し方は、キャリア教育としての視点からも有意義な取組。



【即売の様子】

(2) 工業科

愛知県工業高校生ロボット競技大会

- ・H25年度で第6回。工業教育の充実、発展に資することを目的として開催。
- ・工業高校生が幅広い技術が要求されるロボットの製作を通して、ものづくりの楽しさや加工技術、チームワークの大切さを学ぶ。



【大会の様子】

地元企業と連携したものづくり

- ・溶接の卓越した技術をもった地元企業において、技術指導を受け、学校の時計塔のカバーを製作。
- ・地域産業や地域社会との連携・交流を通じた実践的教育を推進。



【企業内実習の様子】

(3) 商業科

地元企業と連携した商品開発

- ・新学習指導要領の新設科目「商品開発」に対応。
- ・消費者の視点に立って商品を企画・開発し、流通活動を促進する能力と態度を育成。

【開発商品例】

- ・ごんぱんだ(県立半田商業高校)
災害時の備蓄用として長期保存ができ、柔らかくて甘いパン「ごんぱんだ」を地元企業と共同開発。売上金額の一部を義援金とする。



【開発商品】

商店街と連携した店舗経営

- ・商品の仕入れや接客、販売などの実習を通じて、マーケティング活動を適切かつ合理的に行う能力と態度を育成。

【店舗経営例】

- ・OKASHOP(県立岡崎商業高校)
オリジナル開発商品「天下シリーズ」の販売を主に、高齢者を対象にした宅配事業「おやつ定期便」を始めるなど、活動の幅を広げている。



【店舗経営】

(4) 水産科

実習船「愛知丸」で漁獲したカツオを使った商品開発

- ・地域の企業との連携した取組として、実習船「愛知丸」で漁獲したカツオを活用した商品を開発。

【開発商品例】

- ・「愛知丸ごはん」(県立三谷水産高等学校)
地元の老舗つくだ煮業者と、水産食品科の生徒が協力して新食感のジュレタイプのつくだ煮を開発。



【開発商品】

漁業協同組合と連携した実習

- ・漁業協同組合所属の漁船に生徒が乗り込み、三河湾にて、漁師の方の指示・指導のもと、底引き網実習を実施。
- ・魚介類の選別等に関する指導により、実用的な漁業技術の習得。



【漁業実習】

(5) 家庭科

地元幼稚園との交流

- ・ 幼児の発達段階を学ぶため、食物分野の科目「栄養」、被服分野の科目「手芸」の内容を統合させ、地元幼稚園との交流会を実施。

【幼稚園交流会】県立安城高等学校

- ・ 近隣の幼稚園で交流会を実施。
- ・ 食べ物が体の成長にとって必要であること、好き嫌いなく食べることが大切であることを、野菜や果物、卵を布で作って、栄養の大切さを園児に分かりやすく説明。



【交流会の様子】

(6) 看護科

地元小学校との交流

- ・ 健康教室の開催を通じて、地域社会との交流やグループワークを取り入れ、看護倫理、コミュニケーション能力、人権を尊重する態度等の育成。

【風邪予防の健康教室】県立桃陵高等学校

- ・ 小学校4年生の児童へ健康教室を実施。
- ・ テレビアニメのキャラクターになりきり、図や説明文を掲示して風邪予防のための手洗いの仕方を小学生に実習を交えながら説明。



【健康教室の様子】

(7) 福祉科

ボランティア活動の実践

- ・ 市役所・社会福祉協議会と連携し、ボランティア活動を実施。

【デイサービス施設訪問】県立高浜高等学校

- ・ デイサービスの施設を訪問し、利用者の方に寸劇を披露するなどの交流を実施。
- ・ 方言や食べ物、文化、風習などの地域文化を継承。



【ボランティア活動の様子】

3 職業学科で学ぶ誇りの醸成と理解の促進

職業学科では、生徒に将来のスペシャリストとして活躍することの自覚と誇りをもたせるとともに、県民に学習成果等を積極的に広報し、魅力と役割の理解を促す必要がある。

- ・「あいちゃんフェスタ」開催
- ・「第23回全国産業教育フェア愛知大会」開催

(1) あいちゃんフェスタ

- ・平成22年度から平成24年度の3年間、尾張地区・三河地区の2会場で実施。
- ・学科紹介、作品展示、展示即売、研究発表等を実施し、中学生の進路選択の一助とするとともに、県民の理解を促進。

あいちゃんフェスタ	日付	尾張地区	日付	三河地区
2010	11月7日(日)	金山総合駅	11月20日(土)	豊橋駅
2011	11月3日(日)	金山総合駅	10月29日(土)	刈谷駅広場 刈谷市総合文化センター
2012	10月27日(土)	金山総合駅	11月3日(土)	刈谷市産業振興センター

(2) 第23回全国産業教育フェア愛知大会(右ページを参照)

- ・開催日時及び会場

日時 平成25年11月9日(土)、10日(日)

会場 愛知県産業労働センター(ウイंकあいち)、愛知県体育館、刈谷市産業振興センター、刈谷市総合文化センター

- ・主催、共催

文部科学省、愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、公益財団法人産業教育振興中央会、全国産業教育振興会連絡協議会、愛知県産業教育振興会・刈谷市

- ・内容等

次代の産業界を担う人材の育成と産業教育の一層の充実・発展を目指し、専門高校における日頃の学習成果を広く紹介。

全国有数の産業立県である本県から、新しい時代に即した産業教育の在り方を発信するとともに、「ものづくり県愛知」の技術を全国に積極的に広報。

第23回 全国産業教育フェア愛知大会 開催日程

会場	日付	11月9日(土曜日)		11月10日(日曜日)		
		午前	午後	午前	午後	
愛知県産業労働センター(ウイंकあいち)	大ホール	2F [総合開会式] ●開会式典 9:30~10:10 ●オープニングアトラクション (愛知県立木曽川高等学校 マーチング演奏、フェア紹介) 10:10~10:40	●記念講演 13:00~14:30 トヨタ自動車株式会社 アサイン本部トヨタデザイン部 三輪日出雄氏(プロクスタデザイナー 愛知県立愛知工業高等学校卒業)	●キャリア教育フォーラム 9:30~10:45	●ファッションショー 13:00~14:30 [総合開会式] ●メモリアルアトラクション ●閉会式典 15:15~15:45 15:45~16:15	
	小ホール	5F 	●全国作品研究発表 13:00~16:00	●愛知県ハイスクール-起業家コンテスト 10:00~15:00		
	特設ステージ	6F ●参加-交流イベント 11:00~12:00		●参加-交流イベント 11:00~12:00		
	展示場	6F	●全国作品展示 ●全国展示即売 ●県内作品展示 ●体験コーナー ●県内実演 ●県内展示即売 ●企業-大学-専門学校等の展示 ●県内中学生生徒作品展示			9日(10:00~16:00) 10日(10:00~15:00)
		7F				
		8F	●平成25年度知的財産に関する創造力、実践力、活用能力開発事業 全国の専門学校等の生徒による知財学習成果の発表(展示会)			9日(10:00~16:00) 10日(10:00~15:00)
	会議室	9F	●第12回全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト 9:30~17:00		●第12回全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト作品展示 10:00~15:00	
		10F		●ビジネスマナー実演 14:00~16:00	●全国高校生介護技術コンテスト 10:00~14:00	
		11F	●第55回全国産業教育振興大会 15:30~17:00		●平成25年度知的財産に関する創造力、実践力、活用能力開発事業 全国の専門学校等の生徒による知財学習成果の発表(発表会) 9:00~13:00	
	愛知県体育館	競技場	●第21回全国高等学校ロボット競技大会 9:00~17:00 (公式練習、競技者会議)		●第21回全国高等学校ロボット競技大会 9:00~16:00 (開会式、競技大会、閉会式)	
		屋外西庭甲広場	●県内ガーデニングコンテスト		●キッズビジネスタウンあいち 9:30~15:30 ●県内ガーデニングコンテスト作品展示 9:30~15:30 ●県内展示即売 ●県内作品展示 ●体験コーナー 10:00~15:00	
刈谷市産業振興センター	あいおいホール 小ホール 屋外特設会場	[総合開会式 (光臨観システム中継)] ●開会式典 9:30~10:10 ●オープニングアトラクション (愛知県立木曽川高等学校 マーチング演奏、フェア紹介) 10:10~10:40	[光臨観システム中継] ●記念講演 13:00~14:30 	[平日会場開会式] 9:30~9:45 ●開会式典(光臨観システム中継) ●県民ふりかぜ 15:15~15:45 ●閉会式典 15:45~16:00 [刈谷会場開会式] 16:00~16:10	●技能五輪-アビリンピック選手実演 10:00~15:00 ●技能五輪-アビリンピック紹介コーナー ●県内特別支援学校生徒作品コンテスト ●県内特別支援学校フラワーアレンジメントコンテスト ●県内作品展示 ●体験コーナー ●県内実演 ●県内展示即売 ●県内中学生生徒作品展示 ●企業-大学-専門学校等の展示 ●キッズビジネスタウンあいち 10:00~16:00	
						
						
刈谷市総合文化センター	調理実習室 海苔室	3F		●全国高校生クッキングコンテスト 9:00~13:00 ●さくら体験 10:00~15:00 		